

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	山本 裕司	学年・学期	2学年	時間数	30時間	必修・選択	必修
授業概要 ・ 授業内容	・理容師・美容師をはじめとする業務に関する衛生法規や制度について学習する。 ・消費者の保護に関する法規や制度を学ぶ。法律全般について学習する。 ・理容師・美容師が公衆衛生を担う社会責務、職業倫理について学習する。 ・授業はテキスト・プリントを使い、国家試験合格に向けた知識の定着を目指す。 ・前期試験および後期試験は国家試験の過去問を意識して出題する。						
到達目標	・理容師・美容師が公衆衛生を担う社会責務、職業倫理について学習する。 ・法律全般に興味を持つようになる。 ・授業はテキスト・プリントを使い、国家試験合格に向けた知識の定着を目指す。 ・前期試験および後期試験は国家試験の過去問を意識して出題する。						
授業計画・内容							
第1週	法律概論	第16週	前期の復習と理容師法・美容師法の定義②				
第2週	法制度の概要①	第17週	理容師法・美容師法の概説と養成施設				
第3週	法制度の概要②	第18週	理容師・美容師試験				
第4週	衛生法規の概要①	第19週	理容師・美容師の免許と登録				
第5週	衛生法規の概要②	第20週	理容師・美容師の義務				
第6週	衛生行政の意義と歴史①	第21週	理容師・美容師の業務停止、免許取消と再発行				
第7週	衛生行政の意義と歴史②	第22週	管理理容師・管理美容師				
第8週	衛生行政の分類	第23週	理容所・美容所の開設				
第9週	生活衛生行政	第24週	理容師・美容師の開設者が講ずべき衛生管理				
第10週	衛生行政を担う機関①	第25週	立入検査と環境衛生監視員				
第11週	衛生行政を担う機関②	第26週	違反者に対する行政処分				
第12週	衛生行政を担う機関③	第27週	罰則				
第13週	理容師法・美容師法の目的	第28週	関連法規・参考資料①(国家試験対策)				
第14週	理容師法・美容師法の定義①	第29週	関連法規・参考資料②(国家試験対策)				
第15週	前期分の範囲のまとめ(これまでの復習)	第30週	後期分の範囲のまとめ(国家試験対策)				
評価方法	前期試験・後期試験、出席状況、授業態度、提出物による総合評価 ＊評価目安:筆記試験(約80%)および出席状況・授業態度・レポート等の提出物(約20%)						
教科書 教材など	●関連法規・制度の教科書およびノート持参 ●オリジナルスライド・プリントを使用 ●参考文献は適宜提示						
実務経験	銀行に3年間勤務後、地歴公民科の高校教諭として35年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	難波 弘行	学年・学期	2学年前期	時間数	15 時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	1年生で学んだ感染症の総論を復習すると共に、主な感染症の病態や感染経路をさらに深く理解し、理容業・美容業と感染症との関係 および予防対策を学習する。 授業は講義形式で行い、衛生管理(日本理容美容教育センター2025年4月1日発行)の感染症を中心に、単元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、期末試験を実施する。						
到達目標	病原微生物の種類を理解し感染症法における法的な分類、感染経路や予防対策を理解し日常生活に活かすこと。 理容師・美容師業務への感染対策にも関心を深め、実践的な行動がとれること。						
授業計画・内容							
第1週	【感染症Ⅱ(各論)】 オリエンテーション ・感染症総論の復習 ・消毒						
第2週	【感染症Ⅱ(各論)】 理容業・美容業と感染症(理容師・美容師の健康管理、感染症基礎知識の重要性)・消毒						
第3週	【感染症Ⅱ(各論)】 空気・飛沫感染症と症状・予防対策(結核、ジフテリア等)・消毒						
第4週	【感染症Ⅱ(各論)】 空気・飛沫感染症と症状・予防対策(インフルエンザ)・消毒						
第5週	【感染症Ⅱ(各論)】 空気・飛沫感染症と症状・予防対策(新型コロナウイルス)・消毒						
第6週	【感染症Ⅱ(各論)】 空気・飛沫感染症と症状・予防対策(麻しん、風しん)・消毒						
第7週	【感染症Ⅱ(各論)】 空気・飛沫感染症と症状・予防対策(新型インフルエンザ等感染症)・消毒						
第8週	【感染症Ⅱ(各論)】 食物を介して感染する感染症(細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、A型肝炎)・消毒						
第9週	【感染症Ⅱ(各論)】 血液を介して感染する感染症(B型肝炎、C型肝炎、後天性免疫不全症候群、梅毒)・消毒						
第10週	【感染症Ⅱ(各論)】 動物・節足動物を介して感染する感染症(ラッサ熱、ペスト、デング熱、)・消毒						
第11週	【感染症Ⅱ(各論)】 感染予防に対する具体的な対策例・消毒						
第12週	【感染症Ⅱ(各論)】 感染症に関する基本問題・消毒						
第13週	【感染症Ⅱ(各論)】 感染症に関する基本問題の解説・消毒						
第14週	【感染症Ⅱ(各論)】 感染症に関する前期総まとめ(1)・消毒						
第15週	【感染症Ⅱ(各論)】 ・感染症に関する前期総まとめ(2)・消毒						
評価方法	定期試験(前期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験(80%)・授業態度とレポート(20%)						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:衛生管理 ・プロジェクター(パワーポイント使用) ・レポート冊子(1人1冊配布)						
実務経験	薬剤師歴43年(保健所・病院勤務薬剤師、松山大学薬学部臨床薬学教授)				実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	出石 恭久	学年・学期	2学年前期	時間数	15 時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	美容所における、消毒の意義と目的を学ぶことで、消毒方法の種類、原理、特徴を理解する。また、美容器具などの対象物の材質、構造などに応じた適切な消毒方法の選択と適切な実践方法を学ぶことにより、美容所において用いられる代表的な消毒方法と正しい操作方法を身につける。 授業は講義形式で行い、衛生管理(日本理容美容教育センター2025年4月1日発行)の感染症を中心に、単元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、期末試験を実施する。						
到達目標	美容業務の衛生管理能力を向上させる為に、美容器具などの消毒法の意義と原理を理解し適正な実施方法を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	【消毒薬総論 (各論)】 第1章 消毒法総論:1節 消毒とは:病原微生物と非病原微生物・消毒の原理						
第2週	【消毒薬総論 (各論)】 2節 消毒の意義:汚染、感染、発病と消毒の意義 ・殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義						
第3週	【消毒薬総論 (各論)】 3節 理容・美容の業務と消毒との関係:消毒に関連のある法の規定など						
第4週	【消毒薬総論 (各論)】 4節(1)消毒法と適用上の注意:消毒法の種類と必要な条件など						
第5週	【消毒薬総論 (各論)】 4節(2)消毒法と適用上の注意:病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用方法						
第6週	【消毒薬総論 (各論)】 第2章 消毒法各論:1節 理学的(理学的)消毒法、紫外線消毒など						
第7週	【消毒薬総論 (各論)】 2節 化学的消毒法(1):アルコール類、次亜塩素酸ナトリウム消毒						
第8週	【消毒薬総論 (各論)】 2節 化学的消毒法(2):界面活性剤による消毒						
第9週	【消毒薬総論 (各論)】 2節 化学的消毒法(3):グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒						
第10週	【消毒薬総論 (各論)】 2節 化学的消毒法(4):その他の消毒方法						
第11週	【消毒薬総論 (各論)】 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意、すぐれた消毒法の条件と注意事項など						
第12週	【消毒薬総論 (各論)】 衛生管理技術前期まとめ(練習問題1)						
第13週	【消毒薬総論 (各論)】 衛生管理技術前期まとめ(練習問題1解説)						
第14週	【消毒薬総論 (各論)】 衛生管理技術前期まとめ(練習問題2)						
第15週	【消毒薬総論 (各論)】 ・衛生管理技術前期まとめ(練習問題2解説)						
評価方法	定期試験(前期)を実施し、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:衛生管理 ・プロジェクター(パワーポイント使用) ・レポート冊子(1人1冊配布)						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	川上 道子	学年・学期	2学年後期	時間数	15 時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	消毒法実習では、消毒法の種類を学ぶが、特に規則に定められた方法を守るだけでなく、時には規定されていない方法も知っておく必要がある。かつてない感染症の到来や、過去の感染症が再燃する可能性もある。そのためには、法律や規則に関する情報収集に敏感になることも重要である。 この授業では、消毒法の実施にあたり、個々の消毒法についての正確な知識が要求されるので、しっかり取り組んでほしい。 衛生管理総復習として、公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法・実践例についての復習をする。						
到達目標	1. 消毒法の種類を知る。 2. 各消毒法の特徴や注意点を理解できる。 3. 消毒液の濃度や希釈について理解する。 4. 適切な希釈法に必要な計算法を学び、実際に計算できる。 5. 理容・美容に必要な消毒について理解し、器具の消毒や手洗い等ができる。 6. 衛生管理総復習として、公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法・実践例について理解できる。						
授業計画・内容							
第1週	理学的消毒法(殺菌法) ①紫外線消毒 ※言葉の理解(洗浄・消毒・殺菌・滅菌の違い)						
第2週	理学的消毒法(殺菌法) ②煮沸法 ③蒸気(大気圧下の蒸気)消毒 ④その他の理学的消毒法						
第3週	化学的消毒法(殺菌法) ①アルコール類 ②次亜塩素酸ナトリウム(塩素剤)による消毒						
第4週	化学的消毒法(殺菌法) ③界面活性剤 ④グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒 ⑤その他						
第5週	すぐれた消毒法とその実施上の注意点						
第6週	消毒法実習 ①各種消毒液・・・計算法						
第7週	消毒法実習 ②器具の使い方						
第8週	消毒法実習 ③常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度						
第9週	消毒法実習 ④消毒を行う際の注意事項						
第10週	理容所・美容所の消毒の実際 ①消毒の原則 ②消毒設備						
第11週	理容所・美容所の消毒の実際 ③消毒法						
第12週	理容所・美容所の消毒の実際 ④手指の消毒 ⑤その他のものの消毒						
第13週	理容所・美容所の消毒の実際 ⑥現状						
第14週	衛生管理(消毒法実習・衛生管理総復習)・・・公衆衛生・環境衛生						
第15週	衛生管理(消毒法実習・衛生管理総復習)・・・感染症・衛生管理技術・衛生管理の実践例						
評価方法	定期試験(前期・後期小テスト2回含む)を実施し、授業態度や提出物を考慮して成績を評価する。 ※定期試験(60%)・提出物(リアクションペーパー)(20%)・課題や授業態度(20%)						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:衛生管理 ・プロジェクター(パワーポイント使用) ・レポート冊子(1人1冊配布)						
実務経験	医療法人にて看護師として看護業務の現場経験あり				実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	保健	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬 泰	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	美容の業務において容姿を美しくするだけでなく、人体や皮膚の構造及び機能についての知識理解が必要であることを理解し知識を高めることを目指す。 授業は講義形式でプロジェクターを使用し、まとめの文章をノートに写すようにする。又、写真や図などを表示することで理解を深めていく。 小テストや提出物により理解できていない単元をピックアップし再度振り返り理解を深める。						
到達目標	・美容師試験の筆記課題のため、全単元を十分に理解させる。 ・1年次以降の単元を進める。※1年次の復習も実施する。 ・各単元の解説だけでなく重要点をノートにまとめ提出をさせる。 ・年度末に全体の復習や確認をすることにより国家試験筆記の合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	<皮膚科学 第1章皮膚の構造> ・皮膚表面の理解・表皮について		第16週	<第5章皮膚付属器官の保健> ・皮膚と体内病変について・各臓器との関連性			
第2週	<皮膚科学 第1章皮膚の構造> ・表皮の各層の名称と細胞の役割について		第17週	<第5章皮膚付属器官の保健>・皮膚と水分・脂 ・乾皮・脂性肌の原因・特徴			
第3週	<皮膚科学 第1章皮膚の構造> ・真皮構造と各細胞の役割・皮膚各部位の変化		第18週	<第5章皮膚付属器官の保健> ・ホルモンと皮膚の保護手入れについてⅠ			
第4週	・単元テスト実施(1章) 回答解説 <第2章 皮膚付属機関の構造>・導入		第19週	<第5章皮膚付属器官の保健> ・ホルモンと皮膚の保護手入れについてⅡ			
第5週	<第2章皮膚付属機関の構造>・立毛筋 ・毛の構造と成長周期・毛の成長及び性状		第20週	<第5章皮膚付属器官の疾患>・皮膚トラブル ・単元テスト実施(5章) 回答解説			
第6週	<第2章皮膚付属機関の構造> ・脂腺・汗腺		第21週	<第6章皮膚付属器官の疾患> ・皮膚異常と種類、アレルギーについて			
第7週	<第2章皮膚付属機関の構造> ・爪の構造と成長・単元テスト実施(2章)		第22週	<第6章皮膚付属器官の疾患>・湿疹・蕁麻疹 ・接触皮膚炎の種類・カブレの種類と検査			
第8週	<第3章皮膚の循環器と神経> ・皮膚血管の機能と状態、皮膚のリンパ管		第23週	<第6章皮膚付属器官の疾患>・皮膚炎アトピー ・アレルギーと蕁麻疹・アトピーの特徴			
第9週	・単元テスト実施(3章) 回答解説 <第4章 皮膚付属機関の生理機能>・対外保護作用①		第24週	<第6章皮膚付属器官の疾患> ・温熱・寒冷、角化異常について			
第10週	<第4章皮膚付属機関の生理機能> ・対外保護作用②		第25週	<第6章皮膚付属器官の疾患> ・色素異常・分泌異常について			
第11週	<第4章皮膚付属機関の生理機能>・体温調整 ・体温調節機能及び、知覚と皮膚反射		第26週	<第6章皮膚付属器官の疾患> ・細菌・ウイルスによる疾患Ⅰ			
第12週	<第4章皮膚付属機関の生理機能> ・分泌排泄作用及び、呼吸・吸収作用		第27週	<人体について復習> ・各器官・系統について関連付けながら復習を行う			
第13週	<第4章皮膚付属機関の生理機能>・白血球 ・貯蔵作用及び、免疫・解毒作用		第28週	<復習まとめテスト及び、回答・解説> ・人体、皮膚科学の総合的復習			
第14週	<第4章皮膚付属機関の生理機能>・毛と爪 ・単元テスト実施(4章) 回答解説		第29週	<復習まとめテスト及び、回答・解説> ・人体、皮膚科学の総合的復習			
第15週	<第5章皮膚付属器官の保健>・皮膚と体変化 ・皮膚と健康・精神・栄養について		第30週	<総合問題及び解答> ・過去問形式 ※傾向と対策を含めて実施する			
評価方法	定期試験を実施すると共に授業時の重要ポイントをまとめたノートの提出・小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(70%)・ノート提出・小テスト(20%)・授業態度や出席(10%)						
教科書 教材など	公益社団法人日本理容美容教育センター発行 書名:保健						
実務経験	美容師歴23年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	香粧品化学	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	2学年	時間数	30時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。 授業は講義形式で、理解度を確認しながら勧めていく授業である。						
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。						
授業計画・内容							
第1週	第2編香粧品各論 第1章スキンケア製品 1節 2節		第16週	6節 スカルプケア製品			
第2週	3節 コンディショニング用香粧品		第17週	ワークブックによる総復習			
第3週	4節 トリートメント用香粧品		第18週	ワークブックによる総復習			
第4週	第2章メイクアップ製品 1節 メイクアップ・2節 ベースメイクアップ		第19週	ワークブックによる総復習			
第5週	3節 ポイントメイクアップ製品 4節 アイメイクアップ製品		第20週	ワークブックによる総復習			
第6週	5節 まつ毛ケア製品 6節 ネイルメイクアップ製品		第21週	ワークブックによる総復習			
第7週	第3章ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品 1節ヘアクレンジング		第22週	ワークブックによる総復習			
第8週	2節ヘアコンディショニング 3節 ヘアスタイリング料		第23週	ワークブックによる総復習			
第9週	4節 パーマ剤1		第24週	ワークブックによる総復習			
第10週	4節 パーマ剤2		第25週	ワークブックによる総復習			
第11週	5節 ヘアカラー製品1		第26週	ワークブックによる総復習			
第12週	5節 ヘアカラー製品2		第27週	ワークブックによる総復習			
第13週	5節 ヘアカラー製品3		第28週	ワークブックによる総復習			
第14週	前期総復習		第29週	後期総復習			
第15週	前期総復習		第30週	後期総復習			
評価方法	定期試験と毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験50% 発表20% 授業態度30%						
教科書 教材など	出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:香粧品化学						
実務経験	毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	文化論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	西村 直昭	学年・学期	2学年	時間数	30時間	必修・選択	必修
授業概要 ・ 授業内容	・日本のファッション文化の歴史を学び、ヘアースタイル、メイク、ファッション等の知識を深める。 ・講義はパワーポイントでテキスト、写真、映像などを見ながら行う。						
到達目標	・日本のファッション文化の歴史を学ぶ。 ・美容師としての基礎的知識及びコミュニケーション能力を身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション		第16週	【講義】第3章 第9節 現代(1945年～1950年代)①髪型			
第2週	【講義】第3章 第3節 中世(平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代)①		第17週	【講義】第3章 第9節 現代(1945年～1950年代)②化粧③服装			
第3週	【講義】第3章 第3節 中世(平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代)②③		第18週	【講義】第3章 第10節 現代(1960年代～1970年代)①髪型②化粧			
第4週	【講義】第3章 第4節 近世(戦国時代末期・安土桃山時代)①②③		第19週	【講義】第3章 第10節 現代(1960年代～1970年代)③服装			
第5週	【講義】第3章 第5節 近世(江戸時代)①髪型-1		第20週	【講義】第3章 第10節 元代(1960年代～1970年代)③服装			
第6週	【講義】第3章 第5節 近世(江戸時代)①髪型-2		第21週	【講義】第3章 第11節 現代(1980年代～1990年代)①髪型			
第7週	【講義】第3章 第5節 近世(江戸時代)①髪型-3		第22週	【講義】第3章 第11節 現代(1980年代～1990年代)②化粧			
第8週	【講義】第3章 第5節 近世(江戸時代)②化粧		第23週	【講義】第3章 第11節 現代(1980年代～1990年代)③服装			
第9週	【講義】第3章 第5節 近世(江戸時代)③服装		第24週	【講義】第3章 第12節 現代(2000年代～2010年代)①髪型②化粧			
第10週	【講義】第3章 第6節 近代(明治時代)①髪型-1		第25週	【講義】第3章 第12節 現代(2000年代～2010年代)③服装			
第11週	【講義】第3章 第6節 近代(明治時代)①髪型-2		第26週	【講義】第5章 第1節 和装の礼装			
第12週	【講義】第3章 第6節 近代(明治時代)②化粧③服装		第27週	【講義】第3章 第2節 洋装の礼装			
第13週	【講義】第3章 第7節 近代(大正時代)①髪型		第28週	【講義】髪型・化粧・服装のまとめ			
第14週	【講義】第3章 第7節 近代(大正時代)②化粧・③服装		第29週	【講義】国家試験模擬テスト①			
第15週	【講義】第3章 第8節 近代(昭和20年まで)①髪型②化粧③服装		第30週	【講義】国家試験模擬テスト②			
評価方法	・定期試験(前期・後期)を実施し、提出物・授業態度・出席状況などを加味して評価する。 ・【評価の目安】定期試験(70%)、提出物(20%)、授業態度・出席状況(10%)						
教科書 教材など	出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:文化論						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	運営管理		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	守谷 志妃		学年・学期	2学年	時間数	30時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	経営者の考え方、従業員の在り方、顧客に対しての満足されるサービスなど、美容業における経営、接客に必要な基本的な知識や方法について学ぶ。 授業は講義形式でプリントを使い、簡潔かつ分かりやすくまとめる。美容業にとどまらず、学生に分かりやすい例をあげながら展開し、国家試験対策、将来の経営者になりたいと思う学生の知識が増えるよう授業を行っていく。							
到達目標	本科目「運営管理」のねらいは、国家試験必須科目になっているので、国家試験の合格が出来るようにすることにある。同時に基本的な経営知識、顧客志向、美容業についてなどサービス業(美容業)について理解を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生の目標を実現に役立てるようにする。							
授業計画・内容								
第1週	・第1節 経営とは何か ・第2節 経営者の責任			第16週	・第3節 社会保険② ～医療保険～			
第2週	・第3節 経営の目的 ・第4節 経営戦略①			第17週	・第4節 社会保険③ ～労働保険～			
第3週	・第5節 経営戦略② ・第1節 業界の概要			第18週	・第4節 社会保険③ ～労働保険～			
第4週	・第2節 美容業を取り巻く社会の変化 ・第3節 美容業における競争			第19週	・第4節 社会保険③ ～労働保険～			
第5週	・第4節 競争の未来図 ・第5節 美容業の顧客			第20週	・第5節 キャリアプランの重要性 ・第6節 仕事をするうえで考えるべきこと			
第6週	・第1節 資金管理の重要性 ・第2節 収支と損益			第21週	・第1節 健康管理の基礎 ・第2節 美容の仕事と健康			
第7週	・第3節 会計の考え方 ・第4節 コストを管理する			第22週	・第2節 美容の仕事と健康 ・第3節 美容業に特徴的な健康課題			
第8週	・第5節 税金について ・第6節 税金の申告			第23週	・第3節 美容業に特徴的な健康課題 ・第4節 美容の作業環境に関する健康問題			
第9週	・第1節 人という資源とは ・第2節 人の能力を高める			第24週	国家試験対策(復習)			
第10週	・第3節 人をやる気にさせるために ・第4節 給与			第25週	国家試験対策(復習)			
第11週	・第5節 待遇・福利厚生 ・第6節 労働者の権利			第26週	国家試験対策(復習)			
第12週	・第1節 社会としての責任・美容業の従業員としての責任			第27週	国家試験対策(復習)			
第13週	・第2節 社会保険① ～公的年金～			第28週	国家試験対策(復習)			
第14週	・第2節 社会保険① ～公的年金～			第29週	国家試験対策(復習)			
第15週	・第3節 社会保険② ～医療保険～			第30週	国家試験対策(復習)			
評価方法	定期試験(前期・後期)を実施する。毎時間の板書プリントの提出、出席状況、授業態度などを考慮して成績を評価する。 ※評価目安:①定期試験(80%)・②ノート提出(10%)・③授業態度や出席(10%)							
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人 日本理容美容教育センター 書名:運営管理							
実務経験	美容師歴:3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容技術理論		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬 泰		学年・学期	2学年	時間数	90時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	・1年次の続きである「ヘアデザイン」・「ヘアセッティング」・「カラーリング」を行う。 ・美容技術理論Ⅱ（着付け・日本髪・エステ・メイク等）を集中的に行う。 ・授業は講義形式で、単元が終わるごとに反復学習を行うことにより、自分の苦手な科目を明確にする。 ・クラス全員が同じレベルになるようにクラス内で小テストを導入しながら授業展開を行う。 ・国家試験における出題数が55問であるため、単元ごとに学習の偏りがないよう学生一人ひとりの理解度に注意して講義を行う。							
到達目標	国家試験の合格率100%に向け、クラス全員が安定して8割以上の正答率を出せるよう、授業中に行った単元テストや過去問題、予想問題等を行う。又、美容技術の基礎となる重要な科目であるため、就職した際に充分に活かせるよう基礎知識が理解できるようにする。							
授業計画・内容								
第1週	【理論Ⅰ】6章:ヘアセッティング ・道具の持ち方・名称・カールの目的・構成要素			第16週	【理論Ⅱ】8章:エステック ・エステック概論・皮膚の構造と生理			
第2週	【理論Ⅰ】6章:ヘアカーリング ・ピンカール名称・分類・ループ・ピンニング			第17週	【理論Ⅱ】8章:エステック ・マッサージ理論			
第3週	【理論Ⅰ】6章:ピンカールの作り方 ・ループとウェーブの関係性・作り方			第18週	【理論Ⅱ】8章:エステック ・カウンセリング理論・ボディケア技術			
第4週	【理論Ⅰ】6章:ローラーカール ・ローラーでのウェーブスタイリング			第19週	【理論Ⅱ】9章:ネイル技術 ・ネイル技術概論・爪の構造と機能			
第5週	【理論Ⅰ】6章:ブロードライ ・スタイリングの役割・道具の持ち方・使い方			第20週	【理論Ⅱ】9章:ネイル技術 ・公衆衛生について・カウンセリング			
第6週	【理論Ⅰ】6章:アイロン・その他 ・カールの作り方・ウィッグとヘアピース			第21週	【理論Ⅱ】9章:ネイル技術・ネイルケア 【理論Ⅱ】10章:メイクアップ・メイク概論			
第7週	【理論Ⅰ】7章:ヘアカラーリング ・ヘアカラーの種類・特徴・メカニズム			第22週	【理論Ⅱ】10章:メイクアップ ・色の属性・スキンケア・メイク技法			
第8週	【理論Ⅰ】7章:ヘアカラーリング ・色の基本・毛髪レベルとアンダートーン			第23週	【理論Ⅱ】10章:メイクアップ・まつエク 【理論Ⅱ】11章:日本髪・歴史・名称			
第9週	【理論Ⅰ】7章:ヘアカラーリング ・色の選び方・パッチテスト・注意事項			第24週	【理論Ⅱ】11章:日本髪 ・装飾品・道具・技術手順			
第10週	【理論Ⅰ】7章:ヘアカラーリング ・道具・各カラー剤の技術手順①			第25週	【理論Ⅱ】12章:着付け ・格式と特徴・着物の種類・帯・小物			
第11週	【理論Ⅰ】7章:ヘアカラーリング ・各カラー剤の技術手順②			第26週	【理論Ⅱ】12章:着付け ・留袖・花嫁着付け・補正や・手順・注意点			
第12週	【理論Ⅰ】3章:ヘアデザイン ・美容とデザインの関連性・錯視			第27週	【理論Ⅰ・Ⅱ】復習 ・解説・オリジナル問題(理論Ⅰ・Ⅱ)			
第13週	【理論Ⅰ】3章:ヘアデザイン ・デザインの要素①点・線・面			第28週	【理論Ⅰ・Ⅱ】復習 ・解説・オリジナル問題(理論Ⅰ・Ⅱ)			
第14週	【理論Ⅰ】3章:ヘアデザイン ・デザインの要素②大きさ・テクスチャー・密度			第29週	【国家試験対策】 ・理論Ⅰの総復習			
第15週	【理論Ⅰ】3章:ヘアデザイン ・デザインの原理について・前期試験			第30週	【国家試験対策】 ・理論Ⅱの総復習・後期試験			
評価方法	・前後期で定期試験を実施する。 ・授業内で単元ごとのテストや小テストを実施し、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(70%)・単元テストや小テスト(20%)・授業態度や出席率(10%)							
教科書 教材など	・公益社団法人 日本理容美容教育センター出版 書名:美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ ・視聴覚教材:プロジェクター(パワーポイント)							
実務経験	美容師歴:23年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	白神 健一、守谷 志妃、森下 堅一	学年・学期	2学年	時間数	420時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	前期は主に国家試験の実技第二課題(ワインディング・オールウェーブ)の実習を行い、発表時にはどちらに決まっても問題ない状態を目指す。 後期からは第一課題であるレイヤーカットと、決定した第二課題の成長を目指す。 授業は実技形式で行い、学習内容も反復して取り組むことにより技術レベルの底上げを図り、クラス全員が一定の水準に達するように指導をしていく。						
到達目標	国家試験の合格率100%に向けて(ワインディング20分・ウェーブ25分・カット20分)を規定のタイムに入ることや、衛生試験においても全員が同じ理解度に達するため、本番を想定した試験や指導を行う。 学生全員が就職時に自信をもって現場に立てるよう、技術を学ぶにあたっての姿勢や取り組み方、サロンワークにおける基礎の理解を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	【ワインディング・オールウェーブ】 ・1年時の復習をし、基礎を固める。		第16週	【カット(国家試験レイヤー)】 ・導入を行う。			
第2週	【ワインディング】・タイム20分 【オールウェーブ】・1段目～3段目の復習		第17週	【カット(国家試験レイヤー)】 ・手順・ブロッキング・立ち位置を覚える。			
第3週	【ワインディング】・小テスト①20分 【オールウェーブ】・4段目・5段目の復習		第18週	【カット(国家試験レイヤー)】 ・スタイルの構成を理解させる。			
第4週	【ワインディング】・ブロッキング・センター 【オールウェーブ】・6、7段目の復習		第19週	【カット(国家試験レイヤー)】 ・パネルの引き出し方と角度を理解させる。			
第5週	【ワインディング】・ステムの確認 【オールウェーブ】・タイム25分		第20週	【カット(国家試験レイヤー)】・タイム(40分) 【第二課題】・国家試験の合格基準で練習する。			
第6週	【ワインディング】・バックサイドのシンメトリー 【オールウェーブ】・小テスト②7段構成25分		第21週	【カット(国家試験レイヤー)】・タイムとクオリティ 【第二課題】・国家試験合格基準で練習する。			
第7週	【ワインディング】・フロント・サイドのシンメトリー 【オールウェーブ】・全体バランスを安定させる。		第22週	【カット(国家試験レイヤー)】・見極め試験(40分) 【第二課題】・国家試験合格基準で練習する。			
第8週	【ワインディング】・タイム内で全体シンメトリー 【オールウェーブ】・ループとウェーブつながり		第23週	【カット(国家試験レイヤー)】・見極め試験(30分) 【第二課題】・国家試験合格基準で練習する。			
第9週	【ワインディング】・小テスト③20分以内 【オールウェーブ】・ループ確認(1・3段目)		第24週	【カット(国家試験レイヤー)】・見極め試験(25分) 【第二課題】・国家試験合格基準で練習する。			
第10週	【ワインディング】・全体のクオリティを高める。 【オールウェーブ】・ループ確認(6・7段目)		第25週	【カット(国家試験レイヤー)】・見極め試験(20分) 【第二課題】・国家試験合格基準で練習する。			
第11週	【ワインディング】・国家試験合格基準で収める。 【オールウェーブ】・タイム内で全体バランス確認		第26週	【国家試験課題(カット・第二課題)】 ・見極め試験 * 補習によりフォローアップ			
第12週	【ワインディング】・国家試験合格基準で収める。 【オールウェーブ】・小テスト④7段構成25分		第27週	【国家試験課題(カット・第二課題)】 ・見極め試験 * 補習によりフォローアップ			
第13週	【ワインディング・オールウェーブ】 ・国家試験の合格基準で練習する。		第28週	【国家試験課題(カット・第二課題)】 ・見極め試験 * 補習によりフォローアップ			
第14週	【ワインディング・オールウェーブ】 ・見極め * 補習によるフォローアップ		第29週	【国家試験課題(カット・第二課題)】 ・見極め試験 * 補習によりフォローアップ			
第15週	【ワインディング・オールウェーブ】 ・前期試験		第30週	【カット・第二課題】 ・後期試験			
評価方法	・授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(80%)・実技・衛生チェックの見極め(10%)・授業態度や出席率(10%)						
教科書 教材など	・公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター(パワーポイント使用)		書名:美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 書名:美容師実技試験課題(技術の解説)				
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヘアカラーコーディネート	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井 敬子、森 香絵	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	・1年次に学んだ色彩理論のうち重要項目を復習し、さらなる色彩理論を学び、色彩知識・色彩感覚を深める授業である。 ・学んだ色彩知識や理論を専門分野に活用できるよう、五感や感性、色彩感覚を磨く個人・グループワークでの実習を行う。 ・パーソナルカラー理論を学び、実践できるよう様々な実習に加え、グループ診断実習を行う。 (希望者のみパーソナルカラー検定受験)						
到達目標	・1年次に身に着けた社会人としてのマナーをより習慣化できるよう、あいさつ、人との関わり方、コミュニケーション力等、接客力を磨く。 ・学んだ色彩知識や理論を現場で活用できるよう、実践・応用力を高める。 ・パーソナルカラーを取り入れた顧客への提案ができるよう理論・実習を通じて実践力を身に着ける。						
授業計画・内容							
第1週	2年次カリキュラム・成績評価他説明 配色理論復習①・配色実習(スクラッチアート)		第16週	前期試験ポイント振り返り ポイント復習と小テスト・カラーカード実習③			
第2週	配色理論復習②、色彩と自己表現 「コラージュ作成実習①」		第17週	パーソナルカラー理論と実習③ グループワーク「4シーズンコラージュ作成①」			
第3週	色彩と自己表現「コラージュ作成実習②」 グループ発表①		第18週	グループワーク「4シーズンコラージュ作成②」 グループ発表			
第4週	色彩と自己表現「コラージュ作成実習」 グループ発表②色彩理論・配色イメージ実習①		第19週	パーソナルカラー理論と実習④ 小テスト			
第5週	色彩理論「対比と同化効果」 配色イメージ実習②、グループ発表		第20週	パーソナルカラー理論と実習⑤ 総合小テスト			
第6週	色彩理論「混色復習①」 混色実習「季節感と色彩:あじさい」		第21週	パーソナルカラー診断理論と実習① 小テスト、ドレープの見分け方			
第7週	色彩理論「混色復習②」 小テスト、混色実習「ヘアデザイン画」		第22週	パーソナルカラー診断理論と実習② 小テスト、デモンストレーション①			
第8週	カラーコミュニケーション①「色彩心理とコミュニケーション」理論とグループ実習①		第23週	パーソナルカラー診断理論と実習③ 小テスト、デモンストレーション②			
第9週	カラーコミュニケーション②「色彩心理とコミュニケーション」理論グループ実習②色彩理論		第24週	デモンストレーション③ パーソナルカラー診断グループワーク①			
第10週	色彩理論「照明と色の見え方」復習と小テスト 色彩理論「配色イメージと季節感①」、絵手紙		第25週	パーソナルカラー診断グループワーク②			
第11週	色彩理論「色名とは」 今までの総合テスト、配色実習		第26週	パーソナルカラー実習「自分に似合う色コラージュ作成①」			
第12週	色彩理論「配色イメージと季節感②」 季節感と色彩実習		第27週	パーソナルカラー実習「自分に似合う色コラージュ作成②」グループ発表			
第13週	パーソナルカラー理論と実習① カラーカード実習①		第28週	パーソナルカラーとヘアデザイン画作成実習 パーソナルカラー総合復習と小テスト			
第14週	パーソナルカラー理論と実習② 小テスト、カラーカード実習②		第29週	色彩と五感「色と味覚・嗅覚の相関関係:ハーブティー試飲、アロマ体験」後期試験対策①			
第15週	前期試験範囲説明と対策「対策プリント実施」 質疑応答、自習		第30週	後期試験対策②、質疑応答と自習			
評価方法	試験約60%、出席率と授業態度約20%、提出物約20% ※特に提出物、授業への取り組み姿勢、他者との協調性等を重視する。						
教科書 教材など	配色カード199a 色彩検定3級テキスト パーソナルカラー検定3級テキスト						
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師28年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	美容総合研究		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	白神 健一、守谷 志妃、森下 堅一		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	実技国家試験対策として1年次で習得したワインディング・オールウエーブの技術向上やタイムアップ行う。 筆記国家試験対策として1年次から学ぶ美容技術理論①と衛生管理(公衆衛生・環境衛生・感染症)の復習や問題形式になれるために小テストを行い、国家試験合格に向けて技術レベルと理解度を上げるために指導していく。							
到達目標	国家試験合格に向けて技術では規定のタイムに入ることや、衛生試験や筆記においても学年全員が理解度の水準を一定にする為に指導を続けていく。							
授業計画・内容								
第1週	【筆記】〈美容技術理論〉序章 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第16週	【筆記】〈衛生管理〉公衆衛生① 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			
第2週	【筆記】〈美容技術理論〉第1章① 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第17週	【筆記】〈衛生管理〉公衆衛生② 【実技】〈美容実習〉ワインディング			
第3週	【筆記】〈美容技術理論〉第1章② 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第18週	【筆記】〈衛生管理〉公衆衛生③ 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			
第4週	【筆記】〈美容技術理論〉第1章③ 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第19週	【筆記】〈衛生管理〉環境衛生① 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第5週	【筆記】〈美容技術理論〉第2章① 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第20週	【筆記】〈衛生管理〉環境衛生② 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第6週	【筆記】〈美容技術理論〉第2章② 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第21週	【筆記】〈衛生管理〉環境衛生③ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第7週	【筆記】〈美容技術理論〉第2章③ 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第22週	【筆記】〈衛生管理〉感染症① 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第8週	【筆記】〈美容技術理論〉第2章④ 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第23週	【筆記】〈衛生管理〉感染症② 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第9週	【筆記】〈美容技術理論〉第4章① 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第24週	【筆記】〈衛生管理〉感染症③ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第10週	【筆記】〈美容技術理論〉第4章② 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第25週	【筆記】〈衛生管理〉感染症④ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第11週	【筆記】〈美容技術理論〉第4章③ 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第26週	【筆記】〈衛生管理〉感染症⑤ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第12週	【筆記】〈美容技術理論〉第5章① 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第27週	【筆記】〈衛生管理〉感染症⑥ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第13週	【筆記】〈美容技術理論〉第5章② 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第28週	【筆記】〈衛生管理〉感染症⑦ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第14週	【筆記】〈美容技術理論〉第5章③ 【実技】〈美容実習〉オールウエーブ			第29週	【筆記】〈衛生管理〉感染症⑧ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
第15週	【筆記】〈美容技術理論〉第5章③ 【実技】〈美容実習〉ワインディング			第30週	【筆記】〈衛生管理〉感染症⑨ 【実技】〈美容実習〉第2課題			
評価方法	授業態度や出席率又、授業中に実施するテストの総合評価とする。							
教科書 教材など	・「美容技術理論①」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容師実技試験課題(技術の解説)」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行							
実務経験	森下堅一:美容師歴7年 白神健一:美容師歴6年 守谷志妃:美容師歴3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	2学年	時間数	45時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	1年に引き続き、高校までに学習した政治・経済の仕組み、地理歴史の復習を行う。また、新聞の読み方などを通じて時事常識についても知識を深めさせる。授業は学生の苦手としているところを把握し授業展開を行う。また国家試験筆記に対応できるように過去問をさんこうにして読み方と解き方のポイントを教える。						
到達目標	美容院に就職した時に、お客様とコミュニケーションを図る上で最低限知っておくべき、一般常識として世界情勢や日本の都道府県及び新聞からの情報収集できるように教え今後に役立てられることを目指す。						
授業計画・内容							
第1週	3月4月の時事問題 高校までの復習		第16週	四字熟語について 国家試験対策			
第2週	世界の情勢について		第17週	同上練習問題によるまとめ 国家試験対策			
第3週	同上練習問題によるまとめ		第18週	故事成語・語源について 国家試験対策			
第4週	日本の情勢		第19週	同上練習によるまとめ 国家試験対策			
第5週	同上練習問題によるまとめ		第20週	新聞の読み方 国家試験対策			
第6週	経済の仕組み		第21週	時事常識の解説 国家試験対策			
第7週	同上練習問題によるまとめ		第22週	ブレインストーミング(KJ法) 国家試験対策			
第8週	日本の歴史		第23週	パソコンを活用した顧客情報の管理 ・広報活動について・国家試験対策			
第9週	同上練習問題によるまとめ		第24週	SNSの使用上の注意点 国家試験対策			
第10週	社会保障制度(雇用保険)について		第25週	情報セキュリティについて 国家試験対策			
第11週	同上練習問題によるまとめ		第26週	ファッションの歴史 国家試験対策			
第12週	社会保障制度(労働基準法)について		第27週	同上練習問題によるまとめ 国家試験対策			
第13週	同上練習問題によるまとめ		第28週	髪型の歴史 国家試験対策			
第14週	選挙制度等の公民的知識について		第29週	同上練習問題によるまとめ 国家試験対策			
第15週	同上練習問題によるまとめ		第30週	礼装の種類 国家試験対策			
評価方法	定期試験、出席状況、授業態度をい考慮して成績を評価する。 評価目安 定期試験40% 授業態度60%						
教科書 教材など	・講師作成プリント ・出版社 日本理容・美容教育センター 書名:過去問題						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	リラクゼーション技法		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	白神 健一、守谷 志妃、森下 堅一		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要 授業内容	美容院では現在バックシャンプーが主流になりつつあるが、店舗によってはバックシャンプーも実施しており、就職した際にどちらでも対応できるための基礎技術を教える。またスキャルプマッサージ(ヘッドスパ)技術も必要とされているため、平行して学ぶ。授業は実技形式で相モデルで行うが、同じモデルにならないように工夫することで、色々な髪質や頭皮に対応できるように実施する。お客様に満足してもらえるシャンプー技術を習得するためには、人体の構造及び皮膚科学の知識が必要なため、美容師国家試験の筆記科目でもある「保健」を復習する。							
到達目標	現場では様々な毛髪の長さや髪質のお客様に対応する為に、学生の中から色々な毛髪の長さや髪質等に触れることにより、即戦力となる人材を育成する。 腰痛などの職業病を防ぐための正しい作業姿勢を身に付ける。 授業を通して美容師の役割が、スタイルをすることだけではなく、毛髪及び頭皮のケアやお客様にリラックス効果を与えることも技術であることを理解する。							
授業計画・内容								
第1週	【サイドシャンプー】＜基本姿勢＞ スタンス(足の位置)や距離感について学ぶ			第16週	【サイドシャンプー】＜サイドシャンプー応用＞ サイドシャンプー、ヘッドスパ、トリートメント			
第2週	【サイドシャンプー】＜基本手技①予洗い＞ ・サイドシャンプー特有の「片手操作」を学ぶ。			第17週	【シャンプー応用】＜シャンプーの応用練習＞ ※内定が決まっているサロンのシャンプー手技			
第3週	【サイドシャンプー】＜基本手技②予洗い＞ ・「片手操作」の安定・ネープの持ち方や流し方			第18週	【シャンプー応用】＜シャンプーの応用練習＞ ※内定が決まっているサロンのシャンプー手技			
第4週	【サイドシャンプー】＜基本手技③予洗い＞ ・ネープの持ち上げ方やすすぎ方の練習			第19週	【シャンプー応用】＜シャンプーの応用練習＞ ※内定が決まっているサロンのシャンプー手技			
第5週	【サイドシャンプー】＜泡立て①＞ ・特有の動きと、空気を含ませる泡立て方法			第20週	【シャンプー応用】＜シャンプーの応用練習＞ ※内定が決まっているサロンのシャンプー手技			
第6週	【サイドシャンプー】＜基本手技①＞ ・一連の動きや作業手順の確認			第21週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能 第1章・第2章			
第7週	【サイドシャンプー】＜基本手技②＞ ・指の動きや力加減ができているかの確認			第22週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能 第3章・第4章			
第8週	【サイドシャンプー】＜基本手技③＞ ・シャワーヘッドのテクニックを学ぶ。			第23週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能 第5章・第6章			
第9週	【サイドシャンプー】＜施術の確認＞ 姿勢の崩れや首元や襟が濡れていないか確認			第24週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能 第7章・第8章			
第10週	【サイドシャンプー】＜マッサージ＞ ・サイドから施術しやすいツボの練習			第25週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能 第9章			
第11週	【サイドシャンプー】＜すすぎの技術＞ ・流しにくい箇所をすすぎ残しがないか確認			第26週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:皮膚科学 第1章・第2章			
第12週	【サイドシャンプー】＜トリートメント技法＞ ・チェンジリンスについての技術を学ぶ			第27週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:皮膚科学 第3章・第4章			
第13週	【サイドシャンプー】＜セット面マッサージ＞ ・シャンプー後、首や肩、背中マッサージ技術			第28週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:皮膚科学 第5章・第6章			
第14週	【サイドシャンプー】＜時間計測①＞ ・一連の技術を本番と同様に20分で確認			第29週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能・皮膚科学 まとめ①			
第15週	【サイドシャンプー】＜時間計測②＞ ・別のモデルで一連の技術を本番と同様に20分で確認			第30週	美容師国家試験対策＜筆記＞ 保健:人体の構造及び機能・皮膚科学 まとめ②			
評価方法	授業態度や出席率又、授業中に実施するテストの総合評価とする。							
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名:美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ ・株式会社ミルボン オージュアテクニカルマニュアル							
実務経験	森下堅一:美容師歴7年 白神健一:美容師歴6年 守谷志妃:美容師歴3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅠ		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	白神 健一、守谷 志妃、中村 友里恵、 森下 堅一、黒田 美和、柿本 典子		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	＜前期＞ ・ネイルの専門知識を学び、お客様へのネイルサービスやマッサージなどを身につける ＜後期＞ ・サロンワークに役立てるための着付けの基礎知識を学ぶ ・外部講師を招き、カット・カラー・パーマ・セットアップ・撮影などの基礎から応用を学ぶ ・美容師国家試験対策							
到達目標	＜前期＞ ネイルケア、マッサージ、ネイルアートなどの手技ができるようになる ＜後期＞ サロンに就職した際に、知らない知識がないように理解する							
授業計画・内容								
第1週	爪の形状と構造の理解① 爪の構造と機能について			第16週	着付け(着付けの基礎:和装と洋装の違い)			
第2週	爪の形状と構造の理解② 爪の構造と機能について			第17週	着付け(下着の種類と着付け方)			
第3週	爪の形状と構造の理解③ 爪のカットスタイル エメリーボードの使い方			第18週	着付け(小物の扱い方・着物と帯の種類)			
第4週	爪の形状と構造の理解④ 爪のカットスタイル チップで5種類の形をとり提出			第19週	着付け(小物の扱い方とたたみ方・結婚式の装い)			
第5週	ケア実習① 消毒方法と種類 器具の消毒の手順・病気について			第20週	着付け(まとめ・筆記試験)			
第6週	ケア実習② ネイルケアの手順説明 カラーリング説明			第21週	フォトシューティングセミナー(外部講師) ※レポート提出			
第7週	ケア実習③ ネイルケアとカラーリング 自分の手で練習(シャイナーで爪磨き)			第22週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第8週	カラー塗布・アート実習① ジェルネイルの基礎知識			第23週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第9週	カラー塗布・アート実習② ジェルカラーの塗り方(チップで練習)			第24週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第10週	カラー塗布・アート実習③ ネイルアートの種類、描き方(ジェルネイル)			第25週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第11週	カラー塗布・アート実習④ ネイルアートの実践(フラットアート)			第26週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第12週	カラー塗布・アート実習⑤ ネイルアートの実践(ジェルアート)			第27週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第13週	マッサージ実習・アート実習① ネイルアートの実践(ネイルチップ作成)			第28週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第14週	マッサージ実習・アート実習② ネイルアートの実践・マッサージの手順・実践			第29週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
第15週	テスト講義・実技テスト			第30週	美容師国家試験対策 第一課題・第二課題			
評価方法	定期試験(筆記・実技)の結果、授業態度や出席状況及び課題提出状況を考慮して成績を評価する。 評価目安:定期試験結果(70%)・授業態度・出席率・課題提出(30%) 〈前期〉 授業内で実施する試験(着付け・校外実習評価・レポート提出など)の結果、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 評価目安:試験結果(80%)・授業態度・出席率・課題提出(20%) 〈後期〉							
教科書 教材など	出版社:公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名:美容技術理論Ⅱ							
実務経験	森下堅一:美容師歴7年 白神健一:美容師歴6年 守谷志妃:美容師歴3年 中村 友里恵:ネイルサロン経歴15年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(ヘアデザイン)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	岡野 宏行	学年・学期	2学年前期	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	◇美容室に就職した際に近い技術の披露と実習を実施する。 ◇ヘアデザインに関する知識、思考を育て、頭の中のイメージを具現化していける行動力を育てる。						
到達目標	静観せずに行動する学生の育成。美容師思考を深化させ美容師という職業に期待と熱意を持たせてあげ、国家試験に向け直向きに努力できる学生の輪を広がる。						
授業計画・内容							
第1週	・自己紹介 ・オリエンテーション ・グループ化						
第2週	・個人個人のイメージを引き出し、共有する。 ・2次元領域でイメージの具現化 ・意見、アドバイスの共有						
第3週	・イメージの再構築、グループで確認、イメージを形にする為の技術確認						
第4週	・カラーリング実技(インナーカラー・ハイライト・グラデーション・アンブレラ・セクション)						
第5週	・カット実技(ワンレングス・レイヤー・グラデーション・セニングワーク)						
第6週	・ウィッグでイメージをアウトプット、グループ内ディスカッション ・ヘアスタイリング実技						
第7週	・グループごとに1つの作品作りのイメージの擦り合わせ(モデル・ヘア・メイク・衣装)						
第8週	・フォトシューティングリハーサル、リハーサルを経てのデザインの修正、練り直し、ブラッシュアップ						
第9週	・カメラマンを招いてのフォトシューティング(仮/HyuiL 加藤先生)						
第10週	・フォトシューティング作品展覧 ・コンテスト形式で表彰 ※グランプリ・準グランプリ・審査員特別賞・1年生ギャラリー賞						
第11週	・ヘアアレンジ実技(ハーフアップ・編み下し・カチモリスタイル)						
第12週	・前期試験に向けてデザイン作り、グループ内ディスカッション ・提出してからの先生からアドバイスを加えて再構築						
第13週	・グループの仲間と過ごして感じたこと、チームワークに対しての座学 ・グループ内の仲間で褒め合い、人の良い所探し ・前期試験の準備						
第14週	・前期試験に向けて仕込み、準備(ブリーチ・オンカラー)						
第15週	・前期試験(テーマ/今の自分の頭の中) ・最後のホームルーム、今の自分の到達地点						
評価方法	・授業ごとの取り組む姿勢・行動力・思いやり・各作品ごとの評価・前期試験の結果を考慮して成績を評価する						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名:美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ ・出版社:新美容出版 書名:SHINBIYO/BOB						
実務経験	美容師歴:15年(サロンオーナー)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(ベーシック)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	吉川 利也	学年・学期	2学年前期	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	◇サロンワークで1年目から自信を持ち活躍できる基本的な美容技術、知識、社会人としての教養を養う。 ◇基本的に座学で理論、知識を深め実技にて美容技術を体験し理解を深める。						
到達目標	国家試験合格を念頭に置きその中でもよりサロンワークに近い目線で基礎的な技術や知識を授業の中に落とし込んで理解と美容業への好奇心を深めていくことを目標とする。また技術、知識のみならず社会人になっていく上で必要な礼儀、考え方、在り方も身につけることができるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	・オリエンテーション ・ベーシックコースの概要						
第2週	・シザーの持ち方、開閉練習、ロングスタイルのベーシックカット						
第3週	・ロングボブのカット、セニングの理論・大切さ、セニングでの仕上げ方						
第4週	・カット(ショートボブ、グラデーションカット理論)、アイロンでの仕上げ方						
第5週	・幅広いコテ巻きの使い方を知る。夢を持つことの大切さを考える。						
第6週	・ブリーチを使用したインナーカラーを施す。感謝と恩について考える。						
第7週	・カラー理論(ハイライト)・基本的なホイルワークの実技。 ・あいさつの大切さについて考える。						
第8週	・毛束を使ってマニキュア(3原色)でカラーの調合、レシピ作り発表し共有する。						
第9週	・ヘアアレンジ(幅広い編み込みの技術)・グループに分かれて実習。 ・継続力の大切さについて考える。						
第10週	・ショートスタイル理論(カット)、ロング、ボブとは違う質感調整の考え方。 ・前髪の切り方。						
第11週	・メンズカット、刈り上げの切り方。スタイリング剤の使い方。 ・挑戦と成長の関係性について知る。						
第12週	・グループ分けをしてモデルを選出してクリエイティブフォト撮影に必要な構想を各グループで練っていく。						
第13週	・ヘアデザインコースと合同フォト撮影。 ・メイク・衣装・ヘアスタイリングなど仕込みをして各グループ撮影に挑む。						
第14週	・前期試験課題の解説及びその準備。事前のウィッグ仕込み。課題スタイルの共有。						
第15週	・前期試験(課題スタイルをコピーカット・スタイリング) ・これまでの振り返りを含め、将来ビジョンについて考える。						
評価方法	・前期試験の評価(60%)・授業態度と出席(20%)・授業中の技術見極め(20%)						
教科書 教材など	・出版社:公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名:美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ ・出版社:新美容出版 書名:SHINBIYO/BOB						
実務経験	美容師歴:12年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(ブライダルヘアメイク)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	CUT・S	学年・学期	2学年前期	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	◇ヘアメイクの基礎から流行まで学び、技術のスキルアップを目指す。 ◇授業は実技形式で行い、実践に役立てるためにウィッグだけでなく相モデル実習を入れる。 ◇ブライダルの仕事の流れが想像しやすい授業内容を行う。						
到達目標	就職した際に必要なヘアメイクの技術を身につけ、基礎からトレンドのヘアメイクができるようになる。また、お客様への接客マナーや態度を踏まえ臨機応変な対応ができるようにしたい。						
授業計画・内容							
第1週	・オリエンテーション・ホットカーラーを使用した夜会巻(ウィッグ)						
第2週	・16タイプパーソナルカラー診断 ・メイク実習(相モデル)						
第3週	・サマーメイク実習(相モデル) ・シニヨン・編み下しセット						
第4週	・セット実習(タイトシニヨン・リボンアレンジ3スタイル)						
第5週	・オータムメイク実習(相モデル) ・カチモリヘア						
第6週	・花嫁セット・日本髪						
第7週	・ウィンターメイク実習(相モデル) ・ゆるふわおだんごアレンジ						
第8週	・花嫁セットメイク 和装→洋装(相モデル①)						
第9週	・花嫁セットメイク 和装→洋装(相モデル②)						
第10週	・ドレス着用レクチャー(実際に着る) ・夜会巻き復習						
第11週	・結婚式場見学(ラビール岡山)						
第12週	・ヘアセットメイク応用編(相モデル) ※カウンセリング込み						
第13週	・ヘアセットメイク応用編(相モデル) ※カウンセリング込み						
第14週	・実技テスト ウィッグテスト(2スタイル)・次回テストのカウンセリングシート記入						
第15週	・実技テスト セットメイク(相モデル) カウンセリングシート提出						
評価方法	・定期試験を実施し、出席率、授業態度、ヘアメイクテストを考慮して成績を評価する。 ※評価目安:テスト及び毎時間の課題・授業態度や出席率の総合評価						
教科書 教材など	・出版社:株式会社百日草 書名:百日草のはなよめ						
実務経験	掛郁恵(美容師歴22年)/末永愛由美(美容師歴19年)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロンワークⅢ(着付け)	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	清水 直子	学年・学期	2学年前期	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させる。 ◇着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶(正座)ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。 ◇相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	美容師において特殊技能として必要な和装着付けを、冠婚葬祭の対応として基礎から応用まで教え、最終留袖着付けは25分以内で着付けできるように目指す。また、浴衣、振袖着付けの技術の基礎も教えサロンワークに生かせるようにしたい。						
授業計画・内容							
第1週	・着付けのマナー、着物の取り扱い方 ・着物各部の名称を覚える。・長襦袢半襟のつけ方を学ぶ。						
第2週	・長襦袢の襟とじ。 ・体型補整用コットン、胸当てガーゼ、腰当布を作成しボディ補整を学ぶ。						
第3週	・長襦袢着付け(ボディ使用) ・腰紐の結ぶことになれる。留袖着付けに、着物の取り扱い方を学ぶ。						
第4週	・袖着付け(ボディー) ・帯結び 二重太鼓を学ぶ。						
第5週	・袖着付け(ボディー) ・帯結び 二重太鼓。 着物の衿合わせ、前中心、後ろ中心を揃える。						
第6週	・留袖着付け 帯結び(ボディー使用) 着物と帯結びのバランスを細かく学ぶ。						
第7週	・留袖着付け 帯結び(ボディー使用) 留袖着付け(礼装)の小物バランスを学ぶ。 ・帯揚げ、帯締め、末広						
第8週	・留袖着付け 帯結び(ボディー使用) 格式高い留袖着付けのバランスを学ぶ。						
第9週	・留袖着付け・帯結び(ボディー使用)・30分以内で着せる練習。						
第10週	・留袖着付け・帯結び(ボディー使用)・25分以内で着せる練習。						
第11週	・留袖着付け・帯結び(ボディー使用)・認定テストタイム25分で着せる。						
第12週	・浴衣着付け(相モデル) ・浴衣の着せ方 半幅帯の結び方 変わり帯結び 浴衣自装						
第13週	・振袖着付け(ボディ使用)・振袖の着せ方(留袖との違い) ・袋帯の結び方						
第14週	・振袖着付け(相モデル)・体型別補整・振袖着付け・袋帯の結び方・創作帯結び						
第15週	・振袖着付け(ボディ使用) 振袖着付け 創作帯結び 発表						
評価方法	・授業中に認定試験を実施し、授業内で技術見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:認定試験(80%)・授業内の技術見極め(10%)・授業態度や出席率(10%)						
教科書 教材など	・出版社:(株)アイメディア 書名:ゆかたアップ&帯結びbook						
実務経験	美容師歴36年 着付歴33年				実務経験のある教員による 授業科目		✓